

各モデル地区の進捗状況一覧(抜粋)

| | | 白鳥大橋 | 日下川新規放水路 |
|---------------|-------------|--|---|
| 現地協議会 | 既存組織 | 室蘭観光推進連絡会 | — |
| | 連携団体 | 室蘭市、室蘭観光協会、室蘭商工会議所、スターマリン株式会社、まちづくり団体など民間組織、宿泊事業者団体、室蘭市民観光ボランティアガイド協議会 | ・日高村、日高村商工会、日高村観光協会、仁淀ブルー観光協議会、高知県仁淀川地域本部 |
| 事業方針(案) | 概要 | インフラツーリズムで室蘭の歴史・産業・文化を発信 【白鳥大橋魅力拡大プロジェクト】 | インフラツーリズムによる日高村観光資源の活性化 【日下川新規放水路魅力拡大プロジェクト】 |
| | 目標 | ・歴史や景観・景勝地を巡るコース設定 ・周辺観光地と連携した周遊コースの検討 | 地域での食・買い物、体験を楽しむコース(フットバス、トレッキング等)の設定 |
| ツアー設定(案) | インフラ施設 | ①主塔貸切ツアー(主塔最上部登頂、夜間登頂、フォトウェディング撮影等) ②管理用階段で登頂するプレミアムツアー | ① 日下川新規放水路工事現場の探検ツアー ② インフラ施設の役割や作られた背景を学ぶツアー ③ トンネルレストランツアー |
| | 周辺地域連携 | ①「鉄のまち」室蘭の歴史を辿る日本遺産「炭鉄港」ツアー ②フォトジェニックな景観・景勝地を巡る室蘭港内クルーズツアー | ① 日高村の観光資源と連携した特別プログラム |
| 第1回協議会概要 | 意見要旨 | ・単なる地域活性化だけでなく、稼ぐ観光の実現が重要。 ・地域の事業者が稼げるように、地域を巻き込んでいく必要がある。 ・周辺地域とも連携が必要である。 | ・他のインフラ施設に負けないものを一言で伝えることができるコンセプトを決めることが必要。「長い」、「暗い」空間をどう生かすか。 ・一般の方に治水施設の必要性をしっかりと説明する必要がある。 |
| | 事業方針の反映 | ・白鳥大橋の多様な活用メニューについて検討 ・周辺地域との連携については、市外地域も含めたパッケージを検討 | ・日下川新規放水路の特徴を生かしたコンテンツ検討 ・組み合わせる地域資源の調査、検討 |
| 実施予定(モニターツアー) | 時期 | ・令和3年7月頃のモニターツアー実施を想定 | ・11~12月にて実施予定(日付未定) |
| | 実施内容 | ①白鳥大橋主塔登頂クルーズとアンカレイジ見学付き鉄のまち室蘭の歴史を巡るツアー ②室蘭の絶景を巡る魅力発掘ツアー ③新たな魅力を発見、室蘭を巡るカメラ旅 ④大自然満喫ツアー | ・未定(日高村を中心に、仁淀川、土佐市、いの町等と連携して作成) |
| 第2回協議会概要 | 意見要旨 | ・ガイド育成や受入体制を整備し、主塔見学＋クルーズの実施体制を整えることが必要。 ・モニターツアーについて、内容の磨き上げや誰に販売するのか、誰が販売するのか、どのように販売するのか等の検討が必要。 | — |
| | 今後の自主に向けた取組 | ・主塔塔頂クルーズを軸として、多様な見学・活用方法を検討 ・ガイドマニュアルの深度化 ・組み合わせる地域資源の調査、検討 ・モニターツアー内容の検討、実施 | — |